

第2回アジア・ゼロエミッション共同体（AZEC）首脳会合 における石破総理冒頭発言（令和6年10月11日）

- ただいまから第2回^{エーゼック}AZEC首脳会合を始める。ASEAN関連首脳会議の機会に本首脳会合を開催でき光栄。ホスト国のソンサイ・ラオス首相の御協力と、お集まりいただいた各国首脳の皆様に感謝。
- 世界の成長エンジンとして、アジアの経済成長の確保は必須。同時に、気候変動対策は人類共通の喫緊の課題。
- このため、脱炭素化、経済成長、エネルギー安全保障を同時に実現すべく、産業構造やエネルギー構成等の各国の事情を踏まえた多様な道筋の下でネット・ゼロを達成する。
- この共通の目標に向けて、AZEC原則は極めて重要であり、国際的な取組を進めることにも寄与。AZEC構想は、ASEANの戦略とも合致するもの。
- 本日は、今後10年間を見据えて協力して取り組むべき具体的なアクションプランについて合意したい。
- 第一に、AZECソリューション、すなわちアジアの脱炭素化に資する活動を促進するルール形成を進め、分野横断的な取組によりアジアの成長に繋げていく。
- 第二に、電力・運輸・産業といったセクターごとの脱炭

素化に向けたイニシアティブや、^エ ^リ ^ア E R I A のアジア・ゼロエミッションセンターを始動する。

- 最後に、農業や廃棄物処理等の分野について、官民が一体となって個別のプロジェクトを更に推進していく。
- 昨年の中脳会合以降、日本と各国との間では、約120件のMOU等協力案件が結ばれている。
- 例えば、次のような取組が進んでいる。
 - ①インドネシアでの地熱エネルギーを効率的に利用するためのシステム構築
 - ②ベトナムでの再生可能エネルギーの安定供給に必要な送電網整備への金融支援
 - ③フィリピン及びベトナムでの水田から排出されるメタン削減によるJCMを活用したカーボンクレジット創出に向けた取組
- ラオスでは、電力供給の安定化を支援すると共に、将来的には同国を域内のクリーンエネルギーの供給基地として、地域の脱炭素化に貢献するための、オファー型協力を検討していきたい。
- 今後、この他にも、各国の間でA Z E Cの理念に合致するような具体的な取組が実施されていくことを期待したい。